平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　14　日

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹平　裕二	電話	483-6156

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9923	事務事業名称	水道メータ管理事業	短縮コード	経常	9923	臨時	

予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	03	水道メータ費

区分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	八千代市水道事業給水条例

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

・水道事業創設以来。
・計量法により，水道メータの検定有効期限は８年以内と決められていることから。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

毎年給水人口の増加とともに年々新規・検定満了ともに増加の傾向にある。

総合計画の施策体系		
６本の柱（章）	05	第５章快適生活都市をめざして
大項目（節）	03	第３節水道
中項目	01	1．水道
小項目	02	(2)安心・快適な給水の確保
細項目	02	②給水衛生対策
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	水道メータ
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 新規使用者の水道メータ設置。検定満了期限（８年）の水道メータの交換。不動メータ等の交換。以上のメータの入出庫。 ※平成24年度に計画していること： 新規使用者の水道メータ設置。検定満了期限（８年）の水道メータ及び不動メータ等の交換。以上のメータの入出庫。
意図（何を狙っているのか）	正確な使用量を把握。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	水道メータ（給水戸数）の設置数	戸	81,375	81,400	81,694	82,000
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	新規給水装置設置戸数	戸	1,231	913	1,192	1,211
	指標２	検定満了期限及び不動メータの交換個数	個	9,541	15,325	16,228	8,985
	指標３						
成果指標	指標１	有収率	%	95.7	95.7	95.9	95.9
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9923	事務事業名称	水道メータ管理事業	所属名	給排水相談課

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	28,859	86,524	50,092	56,633
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			水道メータ貯蔵品勘定から払い出しし,資産勘定への振替処理を行う28,859千円	水道メータ貯蔵品勘定から払い出しし,資産勘定への振替処理を行う86,524千円	水道メータ貯蔵品勘定から払い出しし,資産勘定への振替処理を行う50,092千円	水道メータ貯蔵品勘定から払い出しし,資産勘定への振替処理を行う56,633千円
人件費(B)			千円	14,523.3	10,388.7	11,843.4	11,540
トータルコスト(A)＋(B)			千円	43,382.3	96,912.7	61,935.4	68,173

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	正確な有収量を把握し，安全な水道の給水を図る。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	計量法による，検定満了メータの交換は毎年発生し，継続的な日常業務である。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	水道メータ管理事業については，公益性が強く求められ，民営化の可能性はない。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	水道メータ管理事業については，継続的に行われており，現状の対象と意図で結果に結び付く。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☑ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☑ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	水道メータの入・出庫管理業務等の効率化を図る。 類似事務事業名称 1： 実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2： 実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☑ ない	

コード	9923	事務事業名称	水道メータ管理事業	所属名	給排水相談課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☑ 改革・改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

委託し，事業の多様化に対応しつつ，水道メータの入・出庫管理業務等の効率化を図っていく。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費 削減	経費 不変	経費 増加
成果	向上	☐	☐	☑
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

貯蔵品管理システムを活用し，水道メータの入・出庫管理業務等の効率化を図っている。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

・生活環境の変化による，水需要の高まりとともにメータの精度への関心。
・検定満了期限の水道メータ交換時期の需要者に対しての取替工事の事前通知の実施要望。

所属長コメント

貯蔵品管理システムの活用により，メータの購入・交換・在庫管理等を効率的に行い，経費の削減と成果の向上を図る。複雑，多様化する日々の業務の中で業務を委託して成果の向上を図る。

評価調整委員会評価

- ☑ 改革改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

貯蔵品管理システムの見直しや業務委託により効率的な事業の遂行に努めること。